

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年1月31日

【四半期会計期間】 第61期第1四半期(自平成23年9月21日至平成23年12月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 青木春雄
代表取締役社長 伊藤明德

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第60期 第1四半期 連結累計期間		第61期 第1四半期 連結累計期間		第60期	
	自 至	平成22年9月21日 平成22年12月20日	自 至	平成23年9月21日 平成23年12月20日	自 至	平成22年9月21日 平成23年9月20日
売上高 (千円)		5,389,407		5,491,221		20,286,372
経常利益 (千円)		213,201		191,064		399,636
四半期(当期)純利益 (千円)		65,502		90,862		119,509
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		64,121		82,905		114,808
純資産額 (千円)		2,649,185		2,757,700		2,743,678
総資産額 (千円)		16,696,272		16,240,582		15,730,721
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		5.77		7.91		10.59
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		15.8		16.9		17.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第60期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成23年9月21日～平成23年12月20日）におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や、その後の福島原発事故による落ち込みから回復基調にありましたが、欧州諸国の財政危機による世界経済の減速や長期化する円高の高止まりなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による節約志向が続いており、市場環境は厳しい状況にあります。又、福島原発事故により食品の安全に対する意識が高まっております。

みそ業界におきましては、デフレによる低価格志向を背景に販売単価の下落、出荷数量の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境で推移しております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、54億91百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は、2億6百万円（前年同四半期比17.0%減）、経常利益は、1億91百万円（前年同四半期比10.4%減）、四半期純利益は、90百万円（前年同四半期比38.7%増）となりました。

みそ事業

みそ事業全体が伸び悩んだため、売上高は、16億52百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

a. 生みそ

みそ市場全体が減少傾向にある中、出荷数量の減少に加えて低価格志向による販売単価の下落により、売上高は、11億88百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

b. 調理みそ

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、3億57百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

c. 即席みそ

競合他社との販売の激化により、売上高は、1億5百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

豆乳飲料事業

飲料の受託製造品の出荷が減少したものの、豆乳が堅調に推移し、売上高は、34億68百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. につきましては、持分法による投資損失22百万円を営業外費用に計上しております。

a. 豆乳

健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、27億5百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。

b. 飲料

ミネラルウォーターの出荷が増加したものの、受託製造品の出荷が減少したため、売上高は、7億63百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

その他食品事業

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、3億70百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

流動資産は、84億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億50百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加4億62百万円等によるものであります。

固定資産は、78億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少1億5百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、162億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9百万円増加いたしました。

負債

流動負債は、83億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、賞与引当金の減少1億39百万円があったものの、未払金の増加2億72百万円等によるものであります。

固定負債は、51億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億23百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加4億55百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、134億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億95百万円増加いたしました。

純資産

純資産合計は、27億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加21百万円等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年1月31日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月21日～ 平成23年12月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、該当事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年9月20日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年12月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,459,000	11,459	
単元未満株式	普通株式 21,880		
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,459	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式が419株含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地				
計					

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年9月21日から平成23年12月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年9月21日から平成23年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,763,461	2,226,408
受取手形及び売掛金	3,212,772	3,367,585
商品及び製品	608,586	748,755
仕掛品	508,043	501,770
原材料及び貯蔵品	492,892	483,775
その他	1,180,473	1,087,479
貸倒引当金	9,991	8,987
流動資産合計	7,756,236	8,406,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,789,530	2,749,409
機械装置及び運搬具（純額）	1,820,921	1,715,635
土地	2,642,135	2,642,135
その他（純額）	68,569	107,046
有形固定資産合計	7,321,157	7,214,227
無形固定資産	93,768	90,597
投資その他の資産		
投資有価証券	440,564	412,722
その他	136,388	133,641
貸倒引当金	17,394	17,394
投資その他の資産合計	559,558	528,970
固定資産合計	7,974,484	7,833,794
資産合計	15,730,721	16,240,582
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,548,325	2,664,298
1年内返済予定の長期借入金	2,491,356	2,590,312
未払法人税等	119,379	105,413
賞与引当金	315,107	176,028
未払金	2,120,508	2,393,087
その他	668,398	406,553
流動負債合計	8,263,076	8,335,693
固定負債		
長期借入金	2,802,157	3,257,409
退職給付引当金	1,476,417	1,459,370
資産除去債務	191,092	191,844
その他	254,299	238,564
固定負債合計	4,723,967	5,147,187
負債合計	12,987,043	13,482,881

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,344,121	1,366,100
自己株式	184	184
株主資本合計	2,844,420	2,866,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,280	19,092
為替換算調整勘定	96,035	101,617
その他の包括利益累計額合計	112,316	120,710
少数株主持分	11,573	12,010
純資産合計	2,743,678	2,757,700
負債純資産合計	15,730,721	16,240,582

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)
売上高	5,389,407	5,491,221
売上原価	3,802,913	3,915,267
売上総利益	1,586,494	1,575,953
販売費及び一般管理費	1,337,665	1,369,331
営業利益	248,828	206,622
営業外収益		
受取利息	261	354
技術指導料	11,187	1,935
不動産賃貸収入	5,921	5,462
デリバティブ評価益	-	8,363
為替差益	-	4,067
保険解約返戻金	9,732	-
その他	7,271	5,614
営業外収益合計	34,373	25,798
営業外費用		
支払利息	16,678	13,895
持分法による投資損失	19,243	22,620
デリバティブ評価損	23,420	-
為替差損	6,089	-
その他	4,567	4,840
営業外費用合計	70,000	41,356
経常利益	213,201	191,064
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,186	-
特別利益合計	1,186	-
特別損失		
固定資産除却損	5,901	997
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,408	-
投資有価証券評価損	4,194	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,020
特別損失合計	85,505	2,017
税金等調整前四半期純利益	128,882	189,047
法人税等	61,996	97,747
少数株主損益調整前四半期純利益	66,886	91,299
少数株主利益	1,384	437
四半期純利益	65,502	90,862

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,886	91,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,876	2,811
為替換算調整勘定	4,641	5,582
その他の包括利益合計	2,764	8,393
四半期包括利益	64,121	82,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,737	82,468
少数株主に係る四半期包括利益	1,384	437

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費含む）は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)	
減価償却費	173,014千円	減価償却費	184,709千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月9日 定時株主総会	普通株式	68,092	6.00	平成22年9月20日	平成22年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月8日 定時株主総会	普通株式	68,882	6.00	平成23年9月20日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,717,682	3,220,611	451,113	5,389,407	5,389,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,717,682	3,220,611	451,113	5,389,407	5,389,407
セグメント利益	225,489	758,622	125,791	1,109,903	1,109,903

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,109,903
全社費用(注)	861,074
四半期連結損益計算書の営業利益	248,828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,652,195	3,468,269	370,755	5,491,221	5,491,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,652,195	3,468,269	370,755	5,491,221	5,491,221
セグメント利益	254,798	735,912	92,916	1,083,626	1,083,626

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,083,626
全社費用(注)	877,003
四半期連結損益計算書の営業利益	206,622

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)
1株当たり四半期純利益金額	5円77銭	7円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	65,502	90,862
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	65,502	90,862
普通株式の期中平均株式数(株)	11,348,670	11,480,461

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 1月31日

マルサンアイ株式会社

取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員

公認会計士 杉 田 純

業務執行社員

公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成23年9月21日から平成24年9月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年9月21日から平成23年12月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年9月21日から平成23年12月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成23年12月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。